

# まちかど

● 荇原第一地域新聞 ●

## 春のイベント特集

### 荇原南公園桜まつり

♪ 雨を吹き飛ばすほどの賑わい♪

荇原南公園で毎年恒例の桜まつりが4月3日(日)に開催されました。44回目を迎えるこのお祭りは荇原第一管内から小山5丁目町会、荇原第二管内から小山6丁目町会、荇原5丁目町会、荇原6丁目町会、荇原7丁目町会、旗の台1丁目町会、荇原会の主催で開催されています。当日はあいにくの天気でしたが、家族や友達を連れ立って多くの人々が会場を訪れました。



桜の下を交通安全パレード

参加者が冷えた体を温めるため、各団体の模擬店で販売する温かい食べ物や飲み物を買っていました。雨の中での開会式では

濱野健区長から挨拶。その後「むさし荇原太鼓」による迫力ある演奏で会場は盛り上がりました。

午後には桜並木の中、荇原警察署をはじめとする総勢200名による交通安全を呼びかけるパレードが行われました。騎馬隊、白バイ隊やピーポ君も参加し、見ごたえのあるパレードでした。

寒い中での開催でしたが、多くの人々の参加で心も体も温まるお祭りになりました。(事務局)

### ムサコたけのこ祭り

♪ たけのこ汁に3000人が舌鼓♪

武蔵小山商店街連合会主催の「ムサコたけのこ祭り」が4月17日(日)に開催されました。毎年恒例となりましたこのイベントも今年で5回目です。荇原地区はもともと竹林が広がり、江戸時代はたけのこの産地として有名だったことから始まった町おこしイベントです。

来場者の一番のお目当ては、なんといつでも先着3000名に無料配布される「たけのこ汁」です。ムサコ生まれで現在、恵比寿に日本料理店を構える笠原シェフのおいしいたけのこ汁が今年も振る舞われました。アクがなくておいしいと評

## 花めぐり

### ゴクラクチョウ

4月3日。午前中降っていた雨も止んで、午後から曇り空になった。花曇りであろう。

ゴクラクチョウは非常に色彩が鮮明な花である。以前は、私の家の近くに咲いていたが、今はない。



小山2丁目のAさん宅の庭に咲いている。通りがかりに観賞した。

まず、形がはっきりしている。1メートル以上はあろうか。巨大なカニのはさみのようなオレンジ色の花をつけ、毒々しいくらいだ。

葉は緑色だ。全体がはっきり、くっきりしている。葉は芭蕉布のようだが、それより一回りほど小さく、葉は厚ぼったい。そして中央から、半分に折れ曲がっている。真ん中には紫の針の先のようにとがった花が咲いている。茎は1メートル以上はあろうか。二つの蕾が手前にあった。これから咲くのだろう。

(荇原1丁目町会 吉田 健治)



判の千葉 県大多喜 町産のたけのこを 使用し、 大多喜町 役場所有 の直径2 メートル の鍋「本 多忠勝鍋」で豚汁風に調理します。

雨で冷えた体が芯から温まりました。武蔵小山駅前ロータリーでは各商店街の人気商品を販売する「ムサコマルシェ」が開催されました。大多喜町物産コーナー「ふるさと市場」では掘り立てのたけのこが販売され、200キログラムがわずか2時間で完売しました。(事務局)

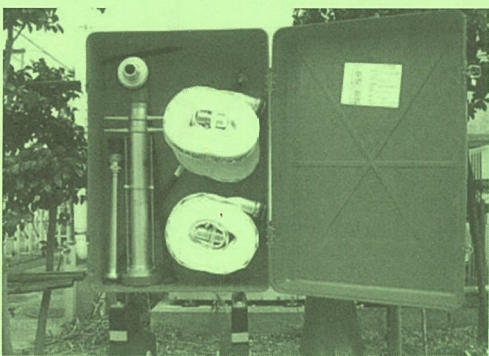
### 荇原4丁目町会

#### 防災活動と地域の絆(7)

荇原4丁目町会は、平成25年度に東京都から「地域の防火防災功労賞 優秀賞」を受賞しました。そこで同町会の防災活動のあらましを、今月号から3回連続で紹介いたします。

#### 防災活動推進委員会立ち上げ

当丁目町会では東日本大震災を契機に、より実践的な防災の仕組みづく



荇原4丁目町会所有のスタンドパイプ

くりを目指して、平成23年11月に「防災活動推進委員会」を立ち上げ活動を開始しました。  
1. 平成23年度  
《活動スタート》  
平成24年1月 防災活動計画書立案  
2. 平成24年度  
《備えの現状把握と充実及び初期消火訓練》

(1) 「町会だより」で各家庭に防災活動開始の広報や防災情報を提供。  
(2) 各家庭の防災の準備状況の把握とその対策を進めるため、①家庭用消火器の整備状況、②災害用備蓄品の整備状況、③家具等の転倒防止状況のアンケート調査を実施しました。大半のご家庭では十分な備えは出ていない状況でした。

そこで町会が斡旋し、家庭用消火器新規購入・薬剤詰め替え計122本。災害用備蓄品は簡易トイレパック89個、サバイバルブランケット144枚、非常用給水袋174袋。家具等の転倒防止では、突っ張り棒が17本、粘着テープタイプの固定具が10セット、L型金具が32個、楔型テープが32個、粘着パッドが10セットの実績となりました。

#### (3) 初期消火訓練

木造密集地域で地震火災危険度が高いことから、①家庭用消火器の取り扱い訓練、②スタンドパイプ着脱放水訓練を実施することにしました。

家庭用消火器の操作訓練と地域火災に対応するための水道消火栓を利用して消火するスタンドパイプの操作訓練など、より実際に即した訓練をしたところ、1回目102名、2回目120名と従来の防災訓練に比べて2倍以上の参加者があり、「私たちの防災訓練」としての意識と関心の高まりがうかがえました。

(荇原4丁目町会 防災推進部)

◎各ご家庭に配布しております。1部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、6月20日(月)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。 <http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/>

古紙を配合した紙を使用しています